

2019年度 第36回一般研究奨励助成対象 研究者

[助成対象 10名]

(五十音順・敬称略)

	氏 名	所 属 機 関	研 究 課 題	助成金額 (千円)
1	大西 浩文	札幌医科大学 医学部 公衆衛生学講座 教授	医療・健診・介護データの統合化による生活習慣病予防システムの開発	600,000
2	勝俣 良紀	慶應義塾大学 医学部 不整脈先端治療学寄附講座 特任助教	心血管疾患予防に向けた、生体バイオセンサを用いた運動強度の自己管理システムの開発	700,000
3	木下 英幸	千葉県がんセンター 整形外科 医長	担がん患者におけるロコモティブシンドローム実態調査-リハビリテーションがもたらすQOL改善効果-	600,000
4	佐藤 倫広	東北医科薬科大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室 助教	トラジェクトリーモデルを用いた壮年・中年期の腎機能低下パターンと予防因子の解明：大規模健診データを用いた縦断解析	700,000
5	中島 宏彰	名古屋大学 医学部附属病院 整形外科 病院助教	栄養状態とサルコペニア進行との関係	800,000
6	西出 真也	北海道医療大学 リハビリテーション科学部 作業療法学科 生物学研究室 講師	作業療法による注意機能改善効果の時刻依存性～何時にリハビリテーションを行うと良いか？	500,000
7	野口 泰司	名古屋市立大学大学院 医学研究科公衆衛生学分野 大学院生	高齢期の死別に伴う健康リスクの緩和要因の探索	500,000
8	萩谷 英大	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座 准教授	地域在住の高齢者ドライバーにおける交通事故リスクの現状を多面的に評価する	500,000
9	若泉 謙太	慶應義塾大学 医学部 麻酔学教室 共同研究員	運動習慣はストレスや情動の改善を伴う中枢神経系の媒介効果により痛みを軽減させる：大規模データと脳画像解析による国際共同研究	700,000
計10研究課題（研究助成期間 2020年1月～12月の1年間）				5,600,000